ensemble **amoibe** vol. 67
Produced by Mayuko Ishigami

宮川 知子 piano　浅井 佑太〈京都〉 lecture
石上 真由子 violin　小室 敬幸〈東京〉 lecture

レクチャーと共にたどる――

シェーンベルク・シリーズ 第6回
Schönberg Series vol.6
- 新ウィーン楽派の最期 -

シェーンベルク Arnold Schönberg
ヴァイオリンのためのピアノ伴奏つき幻想曲 作品47
主題と変奏 作品43 [ピアノとヴァイオリンのための二重奏版 (編曲：夏田 昌和)]

ヴェーベルン Anton Webern
カンタータ 第２番 作品31 より

ベルク Alban Berg
ヴァイオリン協奏曲《ある天使の思い出に》

※レクチャー込み 90分公演 です。

2026年
12月7日(月) 19:00開演(18:30開場)
ルーテル市ヶ谷センター ホール
Tokyo
チケット

/

12月23日(水) 18:30開演(18:00開場)
京都文化博物館 別館ホール
Kyoto
チケット

主催：一般社団法人 Ensemble Amoibe

チケット発売日　いしがみ屋会員 2026年10月19日(月) / 一般 11月1日(日)



Gustav Klimt "Seated Young Girl" (c.1894)



宮川 知子 Chiko MIYAGAWA ピアノ

東京都出身。桐朋女子高等学校音楽科卒業後、渡仏。リヨン国立高等音楽院ピアノ科修士課程を満場一致の最優秀審査員賞賛付き首席で修了。同音楽院ピアノ伴奏科においても修士号を取得。第14回オルレアン国際ピアノコンクール入賞。また第91回レオポルト・ベラン国際コンクールでは2台ピアノ部門で最優秀賞を受賞する他、第10回トゥールーズ国際フランス歌曲コンクールにおいて最優秀デュオ賞を受賞するなど、ソロから室内楽、歌曲伴奏まで幅広く活動する。文化放送「ハピリーくらしっく」、NHK「ららら♪クラシック」「うたコン」などのメディアにも出演。オーケストラの鍵盤奏者として数多くの公演に参加するほか、ミュージカル「ラヴ」「プラハの橋」では音楽監督および奏者を務める。
2026年度、福岡県日田彦山線沿線地域のAIR(Artist in Residence)事業の滞在音楽家に選出され、東峰村・添田町での滞在や地域との交流を通じ作曲活動にも取り組んでいる。桐朋学園大学嘱託演奏員。


© Masatoshi Yamashiro

石上 真由子 Mayuko ISHIGAMI ヴァイオリン

日本音楽コンクール等、国内外で優勝・受賞多数。題名のない音楽会、NHKクラシック音楽館、NHK-FM名曲リサイタルやリサイタル・ノヴァ、「プラボー!オーケストラ」等に出演。東響、東京都響、読響、日フィル、京響、仙台フィル、大響、大フィル、ブラショフ国立交響楽団、関西フィル、東京シティ、セントラル愛知、愛知室内、山響など、国内外で多数のオーケストラと共演。欧米各地の音楽祭・演奏会に出演。長岡京室内アンサンブル、アンサンブル九条山メンバー。MusicDialogue、CHANEL室内楽、京都コンサートホール、公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。京都市芸術新人賞、音楽クリティック・クラブ賞、大阪文化祭賞、青山音楽賞、藤堂音楽賞、京都府文化賞受賞。日本コロムビアよりCD『ヤナーチェク:ヴァイオリン・ソナタ』、『ブラームス:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第1番』、ALTUSより『ラヴェル:ツィガーヌ』、キングレコードより『ブルックナー&ミヨー』、『他人の顔』、ワオンレコードより『二十四気』好評発売中。 https://www.mayukoishigami.com



浅井 佑太 Yuta ASAI レクチャー

京都大学人文科学研究所准教授。1988年大阪生まれ。京都大学経済学部経済学科で経済学を、同大学院文学研究科で美学美術史学を学んだのち、ケルン大学哲学科音楽学研究所で博士号(Dr. phil.)を取得。専門は19世紀以降の西洋音楽、新音楽、新ウィーン楽派、音楽文献学。2017年にパウル・ザッハー財団訪問研究員(バーゼル)、2019年にアントン・ヴェーベルン全集編纂所実習生(バーゼル大学)を経て、2021年よりお茶の水女子大学音楽表現コース助教、2024年より現職。主な著作に『Anton Webern: Komponieren als Problemstellung (= Beihefte zum Archiv für Musikwissenschaft 85)』(Franz Steiner)、『作曲家◎人と作品 シェーンベルク』(音楽之友社)など。


© Taira Tairadate

小室 敬幸 Takayuki KOMURO レクチャー

茨城県生まれ。東京音楽大学付属高校と同大学で作曲を学んだ後、同大学院では音楽学を専攻。修了後は東京音楽大学の助手と和洋女子大学の非常勤講師を経て、現在は桐朋学園大学　非常勤講師も務めながら、主にフリーランスの音楽ライターとしてクラシック音楽、現代音楽、ジャズ、映画音楽などの曲目解説やインタビュー記事などを執筆している。また2018年から新日本フィルハーモニー交響楽団の「すみだクラシックへの扉」の当日レクチャーを担当。TBSラジオ「アフター６ジャンクション」には不定期で出演している。単著に『マイルス・デイヴィス研究入門』(星海社)、共著に『聴かずぎらいのための吹奏楽入門』『ピアノへの旅』(アルテスパブリッシング)がある。趣味は楽曲分析。



Gustav Klimt "Music I " (1895)

チケット発売日　両日とも10:00～発売開始！
2026年10月19日(月)　あもいべいしがみ屋会員
2026年11月1日(日)　一般

公演最新情報は、
Ensemble Amoibe
オフィシャルサイトや
SNSをご覧ください！
https://ensembleamoibe.com

東京公演 2026. 12. 7 (月) 19:00 start /18:30 open

ルーテル市ヶ谷センター ホール
〒162-0842　東京都新宿区市谷砂土原町1-1
チケット

・JR総武線「市ケ谷」駅 より 徒歩7分
・都営地下鉄新宿線「市ケ谷」駅 より 徒歩7分
・東京メトロ有楽町線・南北線「市ケ谷」駅 より 徒歩2分

京都公演 2026. 12. 23 (水) 18:30 start /18:00 open

京都文化博物館 別館ホール
〒604-8183　京都市中京区東片町623-1
チケット

・京都市営地下鉄「烏丸御池」駅 より 徒歩5分

チケットは teket にて発売！　＊クレジットカード決済・コンビニ決済・銀行振込がご利用いただけます。

一般 5,000円　学生 1,000円 【自由席】 / 応援チケット (指定席) 10,000円
※ 当日500円増。
※ 未就学児のご入場はご遠慮ください。

お問合せ ensemble amoibe
☎ 090-1131-1564
✉ mail@ensembleamoibe.com


© Maki Takagi

夏田 昌和 Masakazu NATSUDA 編曲

1968年東京生まれの作曲家・指揮者。東京芸術大学大学院修了後、パリ国立高等音楽院にてG.グリゼイに作曲、J.S.ペローに指揮を学び、同院作曲科を満場一致の首席一等賞を得て卒業。芥川作曲賞や出光音楽賞、Fundação Oriente国際指揮者コンクール第3位(1位なし)など、作曲と指揮の両分野で受賞や入選多数。内外の諸団体や著名なソリストより委嘱を受けて書かれた作品は、世界各地の音楽祭や演奏会にて紹介されている。指揮者としては様々な現代音楽アンサンブルを指揮して海外現代作品の日本初演を含む紹介や邦人作品の世界初演とCD録音に携わり、その数は現在までに180曲を超える。近年では第6回両国アートフェスティバル芸術監督、神奈川県民ホール主催「C×C夏田昌和×アルノルト・シェーンベルク」、東京都交響楽団定期演奏会での代表作「重力波」再演(2025年4月)、古楽器と邦楽器によるアンサンブル室町による公演「日々是好日」のプロデュースなどが、いずれも大きな反響を呼び高い評価を受けた。日仏現代音楽協会を創立し、現在は副会長を務める。www.artandmedia.com/artists/masakazu-natsuda/